

令和5年第4回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
1(17番) 西村 和子	1 市議会議員選挙の総括について	(1) 投票率を向上させる必要があるが、どのような対策を考えられているのか。
		(2) 投票意思はあるが投票所に行くことの難しい高齢者の投票を進めるべきだが施策はあるのか。
		(3) プランに女性の政治参画を進めていくとありますが女性議員が少ない課題への更なる対策は。
	2 農業の振興と行政内部の連携について	(1) 農業の振興と学校教育における市内農業についての学習を連携すべきではないか。
		(2) 市内農産物を学校給食に積極的に活用するために、行政内部の連携を更に進めるべきではないか。
	3 地域猫活動の推進について	(1) 総合計画に掲げるペットの適正飼育の推進は、猫によるトラブルの減少につながっているのか。
		(2) 行政区長への地域猫活動の効果についての理解を徹底すべきではないか。
		(3) 地域猫活動を始めるための市民対象の講習会等を実施すべきではないか。
		(4) 捕獲機の貸し出し・猫の預かりボランティア募集支援など、更なる地域猫活動の支援をすべきでは。
2(7番) 坂口 勝彦	1 フリーランスが安心して働ける労働環境について	(1) 「フリーランス・事業者間取引適正化等法」について、本市はどのように認識されているか。
		(2) 商工会など関係団体に所属していない方への支援は、どのように行うのか。
		(3) 商工会など関係団体とのさらなる情報共有と連携が必要だと考えるが、本市の見解は。
3(12番) 前田 倫宏	1 物価高騰対策及び地域経済活性化について	(1) 地域経済活性化を図るため、キャッシュレス決済キャンペーンを実施するべきと考えるが、見解は。
		(2) 従来のキャンペーンの期間では、利用期間が短いため、長期での利用を可能とするべきと考えるが、見解は。
	2 待機児童対策及び保育について	(1) 潜在的な未入所数を含めた待機児童数は、今後の保育施設の整備により、解消が可能なのか。
		(2) 保育施設が中心市街地に集中しているが、郊外の需要も考慮し検討するべきだと考えるが、見解は。
		(3) 届出保育施設への運営支援費補助金の実施や健康診断費補助金の対象者の緩和をするべきと考えるが、見解は。
		(4) 待機や保留となった世帯に、認可保育所と届出保育施設の保育料の差額の助成が必要と考えるが、見解は。
4(2番) 古賀 新悟	1 子ども・子育て支援について	(1) 子ども・子育て支援対策として国保税の子どもの均等割分を免除すべき。本市の見解を求める。
	2 子ども条例を生かし、権利を發揮できる機会づくりについて	(1) 子どもたちの権利遂行のため、社会に参加し、または参画する機会を設けるべきだが本市の見解を求める。 (2) 子どもの遊びを充実するため、プレーパークの設置が必要と考えるが、本市の見解を求める。
5(10番) 段下 季一郎	1 筑紫野市子ども条例について	(1) 子どもの権利救済委員の広報強化と相談体制を充実すべきと考えるが市の見解は。
	2 市内中学校統一の標準服の導入について	(1) 標準服検討委員会を設置し、標準服を導入すべきと考えるが市の見解は。 (2) 標準服導入を主権者教育に活かすべきと考えるが市の見解は。
	3 筑紫野市地域コミュニティ基本計画について	(1) 二日市北コミュニティの創設とセンター設置について市の見解は。
6(11番) 白石 卓也	1 JR二日市駅自由通路について	(1) 東西を結ぶ自由通路ニーズをどのようにとらえているか。
		(2) 自由通路を設置すべきと考えるが本市の見解は。
	2 手話言語の本市の対応について	(1) 手話言語は多くの自治体で条例化されているがその状況をどのようにとらえているか。
		(2) 実用性や実効性を担保した条例化が必要と考えるが本市の見解は。

令和5年第4回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
7(14番) 八尋 一男	1 本庁舎前のふれあい広場有効活用について	(1) 色々な種類のキッチンカー誘致により、来庁市民へランチを提供し憩いの場としてはどうか (2) ふるさと納税の筑紫野市特産品選びを目的としたマルシェ会場として活用してはどうか
	2 来たるべき労働者不足対応策について	(1) 2040年労働者の供給不足が1100万人とも報道されているが、本市はどのように考えているか (2) 農業は食の安全、自給率向上のための基幹産業であるが、後継者問題が喫緊の課題である。どう考えているか (3) 特定技能者制度に変わり国際的な人材獲得競争が予想されるが優秀な労働者確保に向け海外窓口を設けては
	3 地域包括ケアシステムについて	(1) 高齢化率が最も高い御笠・山口等、身近に病院がない地域があるが、医師の偏在についてどう考えているか (2) 在宅医療は、かかりつけ医の存在が大きな要素と考えるが、持っている人の割合は把握しているか (3) 地域医療の暫定対策として、診療所を造るとかオンラインによる遠隔診療についてどう考えているか (4) 独居高齢者の見守りは、民生委員の役割が大きい。本市に限らず全国的になり手不足だが、その対策は (5) コミュニティ運営協議会において民生委員との連携はとれているか
8(9番) 吉村 陽一	1 高齢者介護における介護人材確保について	(1) 高齢者介護現場の人材不足は重要な問題であるが、市としてどのように考えているのか。 (2) 筑紫野市の介護事業所に人材が定着するよう、筑紫野市の独自の取り組みを検討してはどうか。 (3) 介護人材確保における外国人労働者の人材確保を市としてどうお考えか。
	1 ひとり親支援について	(1) ひとり親への養育費未払いを防ぐために公正証書作成手続きの説明と啓発が必要だと感じるが市の見解は
	2 保育政策の充実に向けて	(1) 0～2歳児の保育料は所得制限に関係なく完全無償化にすると働き手に様々なメリットがあると考えが見解は
9(3番) 春口 茜	3 待機児童解消に向けて	(1) 現在の待機児童解消に向けて、現在の待機児童数でどの程度の施設設備が必要か (2) 届出保育所の認可化にどのように取り組まれているのか (3) 届出保育所施設の運営費の補助をすべきではないか
	4 地域コミュニティによるまちづくり	(1) 二日市に、多世代が集える拠点が必要ではないか
	10(8番) 山本 加奈子	1 飼い主のいない猫を増やさない取組について
2 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について	(1) 視覚障がい者の情報取得サポートとして公的な通知について音声コードの普及を進めるべきではないか。 (2) 18歳以上軽・中等度難聴者(30デシベル以上)へ補聴器購入費助成が出来ないか。 (3) 網膜色素変性症の方が使用できる暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業の対象に追加出来ないか。	

令和5年第4回(6月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問項目	質問項目
11(15番) 田中 允	1 教育のICT化について	(1) 授業における動画教材の活用方法は。 (2) この度の全国調査の結果を踏まえ、本市のICT教育の今後の取組みは。
	2 新型コロナウイルス感染症対策に係る交付金・補助金の総額と使途について	(1) 本市における国等からのコロナ対策に係る交付金・補助金の総額はいくらか。 (2) 交付金・補助金の使途と今後の見通しについて。
	3 施政方針について	(1) 農業振興における改正農業経営基盤強化促進法の取組を伺う。 (2) 待機児童の解消を図るため事業者の公募を行うとあるが施設定員や新規参入者等の受け入れはいかにするのか。 (3) スポーツ施設のあり方について原点に立ち返りとあるが新規施設等の要望があれば応えていくのか。